

松山理事長が「日インド観光サミット」にパネリストとして登壇

松山理事長は、10月24日（月）にインド・デリーで開催された「日インド観光サミット」にパネリストとして登壇し、2015年にインドからのアウトバウンドが初めて10万人を突破し、今後更に伸ばして行くことについて、言及しました。

観光サミットでは、日印間のインバウンド・アウトバウンドを相互促進するための積極的な意見交換が行われました。インド側からの「日本の物価が高い」という意見に対し、松山理事長からは「日本では\$10以下で美味しい食事がとれる上にサービスも良いこと、ホテルも非常にリーズナブルであることなど」を強調しました。また、「日本が魅力的なのは知っているが具体的にどこに行けばいいのかわからないのか、何をしたらいいのかわからない」という意見に対しては、JNTOとしてデリー事務所の開設に向けて準備中であり、開設後にはタイムリーに情報交換し、日印で協力していくことを提起しました。

同サミットにはインド観光省のシャルマ大臣も参席され、「観光がインドの未来を変える」とのスピーチをし、同国の観光への注力姿勢にも触れることができました。



登壇したパネリストの方々



パネリストとして発言する松山理事長



ディスカッションを傍聴する参加者の皆様



地元メディアの取材を受ける松山理事長